



第59回
**全国自治体
病院学会**
in 奈良
開催案内

The 59th Annual Congress of JMHA in NARA

地域医療を守る ～チームで挑む、再生と未来～

会期 2021年11月4日(木)・5日(金)

学会長 松本 昌美 (南和広域医療企業団 南奈良総合医療センター 院長)

会場 奈良県コンベンションセンター、なら100年会館

主催:公益社団法人 全国自治体病院協議会 共催:全国自治体病院開設者協議会

演題募集期間 2021年4月8日(木)～6月15日(火)

事前参加登録期間 2021年4月8日(木)～8月31日(火)

学会事務局

南和広域医療企業団 南奈良総合医療センター 〒638-8551 奈良県吉野郡大淀町大字福神8番1

運営事務局

株式会社コンベンションリンケージ 〒531-0072 大阪市北区豊崎3-19-3 PIAS TOWER 11F
TEL:06-6377-2188 FAX:06-6377-2075 E-mail:59jmha@c-linkage.co.jp

<http://www.c-linkage.co.jp/59jmha/>





CONTENTS

学会へのご案内 (ごあいさつ)	1
会期・会場及びお問い合わせ先	2
会場までの交通機関、会場周辺案内図	3
学会日程表 (予定)	4
総会プログラム	6
分科会プログラム	
[職種・技術系]	
看護・看護教育分科会	9
臨床医学分科会	10
臨床医学分科会 (精神科領域)	11
薬剤分科会	12
臨床検査分科会	13
放射線分科会	14
栄養分科会	15
リハビリテーション分科会	16
栄養・リハビリテーション分科会合同シンポジウム	17
臨床工学分科会	18
[経営・管理系]	
経営・管理分科会	19
地域医療・連携・福祉分科会	21
地域医療・連携・福祉分科会 (精神科領域)	22
学会参加登録	23
演題発表申し込み	26
質疑応答・閲覧について	30
宿泊のご案内	32
エクスカージョンのご案内	34

地域医療を守る ～チームで挑む、再生と未来～



学会長 松本 昌美

南和広域医療企業団 南奈良総合医療センター 院長

第59回全国自治体病院学会を2021年11月4日(木)、5日(金)の2日間にわたり、奈良市において「奈良県コンベンションセンター」、「なら100年会館」を会場に開催いたします。2020年1月に始まった新型コロナウイルス感染症パンデミックのため、開催を1年延期させていただきましたことを、会員ならびに関係各位に改めてお詫び申し上げます。延期されました東京オリンピックも夏に開催予定で、世界の目が日本に集まる記念すべき年に、伝統ある本学会を初めて奈良県で開催させていただくことを、県内の自治体病院関係者一同大変光栄に存じております。

今回の学会テーマは「地域医療を守る～チームで挑む、再生と未来～」であります。

人口減少、少子高齢化などにより社会情勢が大きく変化し、コロナ禍による急激な社会変化もあって医療を取り巻く環境はさらに厳しさを増しております。地域医療を支える最後の砦である自治体病院は、地域において必要な医療を安定的かつ継続的に提供していくため、地域医療再生に向けて経営の効率化、再編ネットワーク化、経営形態の見直しなどに取り組み、さらに地域や医療現場の実情と新型コロナウイルスなどの感染症対応を考慮したうえで地域医療構想の実現、地域包括ケアシステムの構築を目指しています。その中で私たち自治体病院の存在意義が改めて問われ、役割の明確化、そしてさらなる変革が求められています。そこで現在の「医師の診療科および地域偏在対策」、「働き方改革」を踏まえて地域医療のあるべき姿、さらには2025年、そしてその先の未来において、病院および職員がチーム一丸となって地域医療をいかに守っていくかを議論したいと考えます。

興福寺に施薬院と悲田院を創設し、医療、福祉の礎を築いた光明皇后の心が息づく奈良の地において、地域医療の未来を共に考える本学会を開催できることは大きな喜びであり、地域医療の発展に寄与する有意義な会になるよう奈良県の自治体病院が総力をあげてお世話させていただきます。本学会では、密を避けるなど感染対策を徹底したうえで、総会特別講演やシンポジウム、分科会を予定しているほか、WEB閲覧併用でポスターセッションを計画しています。

奈良には「法隆寺地域の仏教建造物」、「古都奈良の文化財」、「紀伊山地の霊場と参詣道」という3つの世界遺産があり、秋たけなわの見所も数多くあります。また正倉院展も開催予定となっております。この機会に皆様お誘いあわせのうえ、是非ともお越しください。心よりお待ちしております。



会期・会場及びお問い合わせ先

会 期

第1日目 令和3年11月4日 (木)

開会式、総会特別講演Ⅰ、総会シンポジウムⅠ、名誉会長特別講演、分科会、ランチョンセミナー、イブニングセミナー、ウェルカムイベント

第2日目 令和3年11月5日 (金)

総会シンポジウムⅡ、会長特別講演、総会特別講演Ⅱ (県民公開講座)、総会特別講演Ⅲ (県民公開講座)、第58回全国自治体病院学会最優秀演題発表、分科会、ランチョンセミナー、閉会式

会 場

奈良県コンベンションセンター (講演会場、ポスター会場、展示会場)

〒630-8013 奈良県奈良市三条大路一丁目691-1
TEL: 0742-32-2290

なら100年会館 (講演会場、ポスター会場、展示会場)

〒630-8121 奈良県奈良市三条宮前町7番1号
TEL: 0742-34-0100 (代表)

ホテル日航奈良 (講演会場)

〒630-8122 奈良県奈良市三条本町8-1 TEL: 0742-35-8831 (代表)

お問い合わせ先

学会事務局: 南和広域医療企業団 南奈良総合医療センター
〒638-8551 奈良県吉野郡大淀町大字福神8番1

運営事務局: 株式会社コンベンションリンクージ
〒531-0072 大阪市北区豊崎3-19-3 PIAS TOWER 11F
TEL: 06-6377-2188 FAX: 06-6377-2075
E-mail: 59jmha@c-linkage.co.jp

※学会の運営・プログラム、事前参加登録、演題登録については、運営事務局へお問い合わせください。
<お問い合わせ受付時間>月曜～金曜 (祝祭日を除く) 9:30～17:30

オフィシャル・トラベルエージェント:

【宿泊・エクスカーションについてのお問い合わせ先】
株式会社日本旅行 大阪法人営業統括部MICE営業部
「第59回全国自治体病院学会」受付デスク
〒541-0051 大阪市中央区備後町3-4-1 山口玄ビル6階
TEL: 06-4256-3869 FAX: 06-6204-1763
E-mail: wj_gakkai@nta.co.jp
<お問い合わせ受付時間>月曜～金曜 (祝祭日を除く) 9:30～17:30



会場までの交通機関、会場周辺案内図



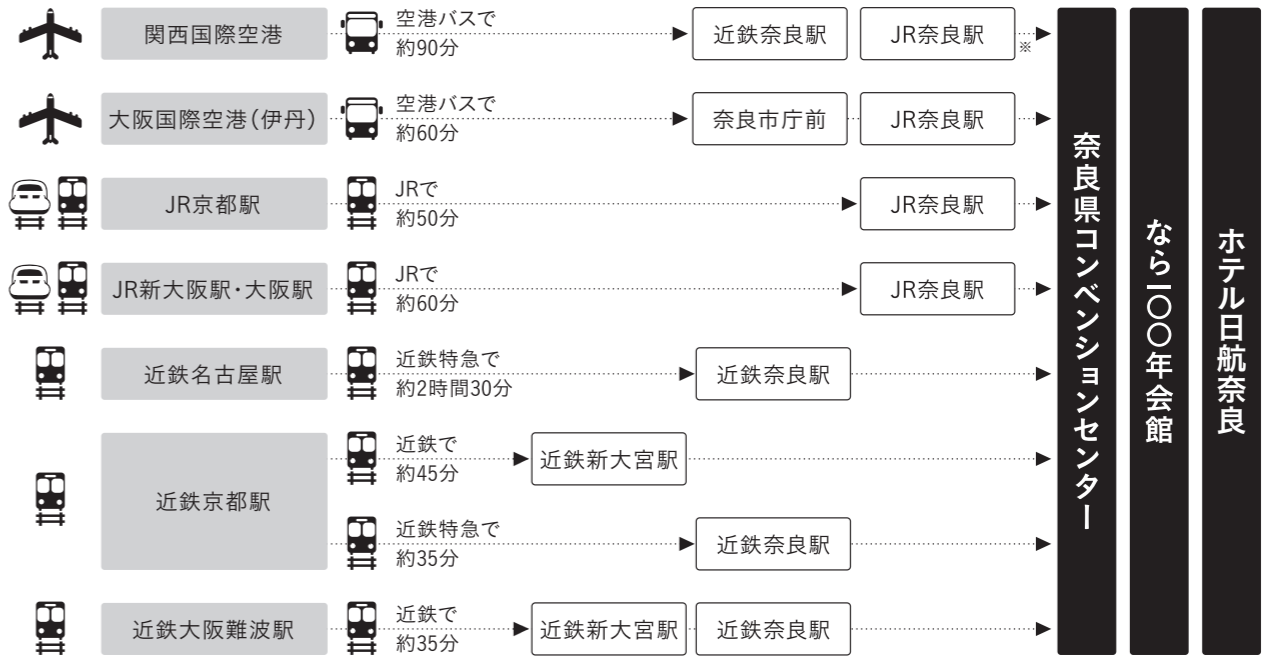
● 奈良県コンベンションセンター



● なら100年会館、ホテル日航奈良



※奈良県コンベンションセンターまで空港バスの一部乗り入れあり





学会日程表 (予定)

1日目/令和3年11月4日(木)

			7:30	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00
第1会場	なら 100年会館	1階 大ホール			開会式	総会特別講演 I	総会シンポジウム I	
第2会場		2階 中ホール						
第3会場	奈良県 コンベンション センター	2階 天平ホール						
第4会場		2階 201+202						
第5会場		2階 203						
第6会場		2階 204						
第7会場		2階 205+206						
イベント会場		天平広場(半屋外)				休憩・ウェルカムイベント (奈良のおもてなし)		
第8会場		ホテル日航奈良	4階 飛天1/4					
第9会場	4階 飛天1/4							
ポスター会場	奈良県コンベンションセンター なら100年会館				ポスター掲示			
展示会場					機器展示			

2日目/令和3年11月5日(金)

			7:30	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00
第1会場	なら 100年会館	1階 大ホール				総会シンポジウム II	会長特別講演	
第2会場		2階 中ホール				地域医療・連携・福祉分科会		
第3会場	奈良県 コンベンション センター	2階 天平ホール					最優秀演題発表	
第4会場		2階 201+202				栄養分科会		
第5会場		2階 203				臨床検査分科会		
第6会場		2階 204				リハビリテーション分科会		
第7会場		2階 205+206				地域医療・連携・福祉分科会 (精神科領域)	臨床医学分科会 (精神科領域)	
イベント会場		天平広場(半屋外)				休憩・ウェルカムイベント (奈良のおもてなし)		
ポスター会場		奈良県コンベンションセンター なら100年会館				一般演題・質疑応答 (看護・看護教育分科会、臨床医学分科会、薬剤分科会、放射線分科会、 臨床工学分科会、経営・管理分科会)	ポスター 閲覧	
展示会場					機器展示			

			12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00
			12:10	12:30	13:30					
			ランチョンセミナー1			看護・看護教育分科会		中継会場		
			ランチョンセミナー2			薬剤分科会				
			ランチョンセミナー3			経営・管理分科会 (医療の質の評価・公表等推進事業シンポジウム)	栄養分科会・ リハビリテーション分科会 合同シンポジウム	ウェルカム イベント	名誉会長 特別講演	
			ランチョンセミナー4			経営・管理分科会			イブニングセミナー1	
			ランチョンセミナー5			放射線分科会				
			ランチョンセミナー6			臨床医学分科会				
			ランチョンセミナー7			臨床工学分科会			イブニングセミナー2	
						休憩・ウェルカムイベント (奈良のおもてなし)				
			ランチョンセミナー8							
			ランチョンセミナー9							
			ポスター閲覧			一般演題・質疑応答 (看護・看護教育分科会、臨床検査分科会、栄養分科会、 リハビリテーション分科会、地域医療・連携・福祉分科会)				
						機器展示				

			12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00
			12:10	13:10	13:40	14:30	15:40	16:20		19:10
			ランチョンセミナー10		総会特別講演 II (県民公開講座)	総会特別講演 III (県民公開講座)	閉会式			
			ランチョンセミナー11							
			ランチョンセミナー12							
			ランチョンセミナー13							
			ランチョンセミナー14							
			ランチョンセミナー15							
			ランチョンセミナー16							
						休憩・ウェルカムイベント (奈良のおもてなし)				
			ポスター閲覧			ポスター撤去				
			機器展示							

第1日目 令和3年11月4日(木) 第1会場

◆開会式・総会 8:50～9:30

◆総会特別講演Ⅰ 9:30～10:20

演 題 「コロナ禍を踏まえた地域医療の今後の在り方(仮)」
 講 師 福島 靖正(厚生労働省 医務技監)
 座 長 松本 昌美(南和広域医療企業団 南奈良総合医療センター 院長)

◆総会シンポジウムⅠ 10:25～12:10

テ ー マ 「チーム力で地域医療を守る～最後の砦は自治体病院～」
 シンポジストⅠ 「行政の立場から(仮)」
 荒井 正吾(奈良県知事)
 シンポジストⅡ 「医師少数県における県立病院の役割と取り組み」
 田中 一成(地方独立行政法人静岡県立病院機構 理事長、
 静岡県立総合病院 院長)
 シンポジストⅢ 「チーム力で地域医療を守る～最後の砦は自治体病院～」
 吉嶺 文俊(新潟県立十日町病院 院長)
 座 長 原 義人(公益社団法人全国自治体病院協議会 副会長、
 青梅市病院事業管理者)
 座 長 望月 泉(公益社団法人全国自治体病院協議会 副会長、
 八幡平市病院事業管理者 兼 八幡平市立病院 統括院長)

◆名誉会長特別講演 18:05～19:00

演 題 「^{いのち}生命輝かそう自治体病院～with coronaの時代に～(今こそ真価を!!)」
 講 師 邊見 公雄(公益社団法人全国自治体病院協議会 名誉会長、
 一般社団法人全国公私病院連盟 会長)
 座 長 吉川 公彦(奈良県立医科大学附属病院 病院長)

第2日目 令和3年11月5日(金) 第1会場

◆総会シンポジウムⅡ 8:30～11:10

テ ー マ 「大規模自然災害に備え自治体病院ができること
 ～新型コロナウイルス感染症対応を含めて～」
 基 調 講 演 「災害医療体制が新型コロナウイルス感染症対応にどう機能したか」
 石井美恵子(国際医療福祉大学大学院 保健医療学 災害医療分野 教授)
 シンポジストⅠ 「自治体病院の業務継続と準備・訓練」
 中島 康(東京都立広尾病院 減災対策支援センター 部長)
 シンポジストⅡ 「基幹災害拠点病院としてどこまでやるべきか
 ～自然災害とコロナ対応から考える～」
 松田 宏樹(厚生労働省 DMAT 事務局 災害医療専門職)
 シンポジストⅢ 「自治体病院間の連携(仮)」
 平川 勝之(地方独立行政法人福岡市立病院機構 福岡市民病院 診療統括部長)
 シンポジストⅣ 「奈良県の将来を見据えた医療提供体制について」
 鶴田 真也(奈良県福祉医療部 医療政策局長)
 シンポジストⅤ 「災害医療ロジスティクスについて」
 藤原 弘之(岩手医科大学 医学部 救急・災害・総合医学講座 災害医学分野
 助教)
 座 長 竹中 賢治(公益社団法人全国自治体病院協議会 副会長、
 天草市病院事業管理者)
 座 長 松本 昌美(公益社団法人全国自治体病院協議会 副会長、
 南和広域医療企業団 南奈良総合医療センター 院長)

◆会長特別講演 11:10～12:00

演 題 「自治体病院における地域医療構想、働き方改革、医師偏在対策(仮)」
 講 師 小熊 豊(公益社団法人全国自治体病院協議会 会長)
 座 長 岡村 隆仁(大和高田市立病院 院長)

◆総会特別講演Ⅱ(県民公開講座) 13:40～14:40

演 題 「患者と医療者が協働する医療を目指して」
 講 師 山口 育子(認定NPO法人ささえあい医療人権センター COML 理事長)
 座 長 菊池 英亮(地方独立行政法人奈良県立病院機構 奈良県総合医療センター 院長)

◆総会特別講演Ⅲ（県民公開講座） 14:40～15:40

演 題 「奈良時代の医療と薬～聖武天皇と光明皇后」
 講 師 西山 厚（半蔵門ミュージアム 館長、帝塚山大学 客員教授）
 座 長 松本 昌美（南和広域医療企業団 南奈良総合医療センター 院長）

◆閉会式 15:40～16:20

第2日目 令和3年11月5日（金） 第3会場

◆第58回全国自治体病院学会最優秀演題発表 11:10～12:00

座 長 土肥 直文（地方独立行政法人奈良県立病院機構 奈良県西和医療センター 院長）

第58回全国自治体病院学会最優秀演題一覧

薬剤分科会

演 題 「小牧市民病院における外来通院中のがん患者に対するオピオイド導入支援チームの取り組み」
 施 設 名 小牧市民病院（愛知県）

放射線分科会

演 題 「急性期脳梗塞に対する短時間MRIプロトコル運用の実臨床成績」
 施 設 名 小樽市立病院（北海道）

リハビリテーション分科会

演 題 「消化器外科術後症例に対する積極的な舌機能訓練に関する検討」
 施 設 名 松阪市民病院（三重県）

臨床工学分科会

演 題 「在宅血液透析（以下Home Hemodialysis:HHD）患者の、公共料金患者負担金の軽減を目的に、地方自治体と協働し県内初の助成金支給事業を達成し得た経験」
 施 設 名 茨城県立中央病院（茨城県）

経営・管理分科会

演 題 「『統合病院6年の軌跡 黒字化への道』：
～病院統合の効果を医療の質及び経営面の双方向から考察する～」
 施 設 名 掛川市・袋井市病院企業団立中東遠総合医療センター（静岡県）

地域医療・連携・福祉分科会

演 題 「医工連携による胸腹水濾過濃縮専用装置（M-CART）の開発と臨床評価」
 施 設 名 徳島大学病院（徳島県）

テーマ 『地域医療を支える看護職の挑戦』



奈良県立医科大学附属病院 病院長
吉川 公彦

急速に迫りつつある少子・超高齢社会、さらには現役世代が急減する2040年に向けて多種多様な課題が示されています。とりわけ地域の医療連携体制については私たち医療者が主体的に取り組んでいかなければならない重要課題です。住み慣れた地域で安心して生活したい、医療を受けたい、最期を迎えたいという国民の願いを達成するため地域の医療需要に応じた医療提供体制の構築、重要疾患における各病院の役割分担の明確化と医療連携体制の構築、医師・看護師をはじめとする医療を担う人材の確保と働き方改革など、早急な対策が求められています。こうした社会情勢の中で、病院内外を問わず、他職種協働・チームアプローチとタスクシフティング・タスクシェアリングの推進に専門性を活かし大きな役割を期待されているのが看護職です。

今回、分科会では「地域医療を支える看護職の挑戦」をテーマに、特別講演では日本看護協会前会長の坂本すが先生に、地域医療を支えるために看護職に求められる役割と展望についてご講演頂きます。また、各領域で活躍されている4名のシンポジストの先生をお迎えし、「地域で"その人らしく生きる"を支える」をテーマに、患者・家族のみならず地域住民を支えるために看護職に期待されることなど、それぞれの立場でお話しいただき、会場の皆さんとディスカッションを交えながら共に考えたいと思います。

講演、シンポジウム、一般演題発表を通して、何かひとつでも挑戦してみようという思いを抱いて、またはそのヒントを見つけて持ち帰って頂ければ幸いです。

1. 特別講演【令和3年11月4日（木）14:00～15:00】

演 題 「看護が社会を変える（仮）」
 講 師 坂本 すが（東京医療保健大学 副学長）
 座 長 未定

2. シンポジウム【令和3年11月4日（木）15:00～17:00】

テーマ 「地域で"その人らしく生きる"を支える」
 シンポジストⅠ 「地域におけるがんサバイバーシップ支援」
 田村 恵子（京都大学大学院 人間健康科学系専攻 臨床看護学講座 緩和ケア・老年看護学分野 教授）

シンポジストⅡ 「命とこころを支える～"新しい私らしさ"との出会い～」
 高橋 裕子（大阪樟蔭女子大学 学芸学部 心理学科 教授）

シンポジストⅢ 「笑顔あふれる健やかなまちづくりに看護の力を…」
 福田 裕子（まちのナースステーション八千代 統括所長）

シンポジストⅣ 「死から生をみつめる」
 花岡 尚樹（あそかビハーラ病院 院長補佐）

座 長 橋口 智子（奈良県立医科大学附属病院 看護部長）
 座 長 堀口 陽子（南和広域医療企業団 南奈良総合医療センター 副院長 兼 看護部長）

3. 一般演題（WEBポスターセッション）

質疑応答【令和3年11月4日（木）14:00～17:00
 11月5日（金）8:30～11:30】

テーマ 『AI・IoTの利活用による地域医療の未来』

地方独立行政法人奈良県立病院機構 奈良県総合医療センター 院長
菊池 英亮



わが国は世界に類を見ない人口減少・少子高齢化社会を迎えようとしています。このような社会構造の変化により医療にも大きな変革のうねりが押し寄せてきています。一方で、科学技術の進歩は目覚ましく、通信技術では5Gが実用化され、人工知能（AI）も医療の現場で活用されています。したがって、AIやIoTなどの利活用により将来の地域医療を如何に推進していくかを考えることは重要な課題と考えます。実際、厚生労働省と経済産業省では「未来イノベーションワーキンググループ」を立ち上げ、技術革新がもたらす2040年の医療の将来設計図についての議論が始まっています。AIやIoTなどの革新的な技術の活用が将来の医療を変革する鍵となる可能性があります。一方、現在も医療連携における医療情報ネットワーク化の取り組みが全国の各地域で行われていますが、その活用があまり進んでない地域もあり課題も多いとされています。このような実情も踏まえ、総務省はICT基盤の高度化により情報連携をより広域化し、医療・介護データの統合と利活用を推進する方向性を打ち出しています。著しい人口減少の中において豊かな社会を構築するためには、医療と介護の連携も含めた地域包括ケアを支える社会環境の整備が急務であることは疑う余地もありません。そこで、今回の臨床医学分科会では二つの特別講演をお願いしています。特別講演Ⅰとして、名古屋大学メディカルITセンター長の白鳥義宗先生に、AIの医療における利活用の方向性とそれがもたらす医療の未来についてご講演をお願いしています。また、特別講演Ⅱでは、東京都医師会理事の目々澤肇先生からICTを活用した地域医療の現状ならびに将来展望についてご講演を賜ることになっています。この分科会での議論が本学会のテーマでもある地域医療の再生と未来へとつながり、我々の社会がより豊かな取り組みを考える機会となれば大変嬉しく思います。

1. 特別講演Ⅰ【令和3年11月4日（木）14:00～15:30】

演題 「東海国立大学機構のめざすAI・IoT利用による医療の未来」

講師 白鳥 義宗（東海国立大学機構 医療健康データ統合研究教育拠点長、
名古屋大学医学部附属病院 病院長補佐 兼 メディカルITセンター長）

座長 菊池 英亮（地方独立行政法人奈良県立病院機構 奈良県総合医療センター 院長）

2. 特別講演Ⅱ【令和3年11月4日（木）15:30～17:00】

演題 「マルチベンダーで拡張する東京総合医療ネットワーク」

講師 目々澤 肇（東京都医師会 理事）

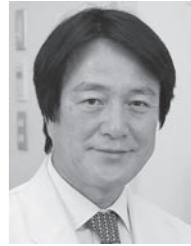
座長 川野 貴弘（南和広域医療企業団 南奈良総合医療センター 副院長）

3. 一般演題（WEBポスターセッション）

質疑応答【令和3年11月5日（金）8:30～11:30】

テーマ 『健康寿命をいかに伸ばすか？—その課題と展望—』

奈良県立医科大学 精神科 教授
岸本 年史



世界的に急速な高齢化が進む現在、健康寿命（日常生活に制限のない期間）の延伸は喫緊の課題であり、高齢者の健康維持・疾病予防の観点からも重要です。また、社会保障給付は高齢化の進展により急速に伸び、特に医療・介護分野の給付は、2012年度から2025年度は、GDPの伸び率が1.27倍に対して、医療1.54倍、介護2.34倍とGDPの伸びを大きく上回り増加すると予想され、その点からも健康寿命を延ばす取り組みや技術の開発は世界に先駆ける必要があります。日本の健康寿命は伸びているものの、平均寿命と健康寿命の差は男性9.02年、女性10.40年（2013年）とかなり大きく、健康寿命を延ばし、平均寿命との差を縮めることが個人の生活の質の低下を防ぐ観点からも、社会的負担を軽減する観点からも重要です。

近年の老化研究は著しく発展し、分子生物学・分子遺伝学的アプローチを主体とした基礎研究が行われており、進化的に保存され、老化・寿命制御に重要な役割を果たしている制御因子やシグナル伝達系が数々特定されてきています。そして線虫やマウス等のモデル動物における研究から遺伝子変異や食事制限等により老化遅延や寿命の延伸ができることが報告されています。つまり、ヒトの老化を遅らせ、寿命特に健康寿命を延ばすことも夢物語でなくなりつつあります。

たとえば、老化のコントロールセンターを司る神経細胞群の機能維持により、ロコモティブシンドロームの予防による「要介護」の回避、生活リズム・睡眠の質の維持により生活習慣の改善、老人性うつ病の予防による精神的健康の改善などが期待できます。

当日は、この方面の日本のトップランナーの一人である慶應義塾大学精神・神経科学教室教授の三村将先生にご講演をいただきます。

1. 特別講演Ⅲ【令和3年11月5日（金）10:00～11:30】

演題 「精神科の3Dを地域で守る」

講師 三村 将（慶應義塾大学 医学部 精神・神経科学教室 教授）

座長 岸本 年史（奈良県立医科大学 精神科 教授）

テーマ 『きり拓け！自治体病院薬剤師の未来』

地方独立行政法人奈良県立病院機構 奈良県西和医療センター 院長
土肥 直文



近年、地域医療構想に欠かすことのできない地域包括ケアシステムにおいて、薬業連携の役割が重要となっており、全国各地で医療機関とかかりつけ薬局間の薬業連携の取り組みが進められています。平成28年度から厚生労働省が推進している「患者のための薬局ビジョン」のモデル事業の一つに「薬業連携等の地域連携を担う人材育成事業」が挙げられています。この薬業連携に関する知識を深めるべくシンポジウムを企画しました。

薬剤分科会では特別講演として「漢方の歴史とメッカ奈良との関わり」について奈良県立医科大学大和漢方医学薬学センター特任教授の三谷和男先生にご講演いただきます。

シンポジウムでは「地域医療における薬剤師の未来」をテーマに「病診薬連携」、「ポリファーマシー」、「トレーシングレポート」、「地域フォーミュラリー」について、シンポジストに八尾市立病院の長谷圭悟先生、宝塚市立病院の吉岡睦展先生、京都府立医科大学附属病院の四方敬介先生、協会けんぽ静岡支部の名波直治先生、座長に神戸市立医療センター中央市民病院の室井延之先生をお迎えしてディスカッションをしていただきます。先進的に取り組まれている先生方から、実際どのように活動されているのかお話しいただき、今後の各施設での業務に大いに参考となることと期待しています。

一般演題では、WEBポスターセッション形式で皆様の日頃の取り組みの成果を発表していただく予定です。多くの方々のご参加をお待ちしております。

1. 特別講演【令和3年11月4日（木）14:00～15:00】

演題 「トウキ、キハダを見直す～奈良県薬草のメッカプロジェクトの目指すもの～」

講師 三谷 和男（奈良県立医科大学 大和漢方医学薬学センター 特任教授、
医療法人三谷ファミリークリニック 院長）

座長 土肥 直文（地方独立行政法人奈良県立病院機構 奈良県西和医療センター 院長）

2. シンポジウム【令和3年11月4日（木）15:00～17:00】

テーマ 「地域医療における薬剤師の未来」

シンポジストⅠ 「病院から薬局、薬局から病院へ切れ目のない連携を目指して!!」

長谷 圭悟（八尾市立病院 薬剤部長補佐）

シンポジストⅡ 「行政事業を活用した病診薬連携」

吉岡 睦展（宝塚市立病院 薬剤部長）

シンポジストⅢ 「都道府県レベルで推進する医療連携」

四方 敬介（京都府立医科大学附属病院 薬剤部長）

シンポジストⅣ 「保険者として取り組む地域フォーミュラリー」

名波 直治（全国健康保険協会（協会けんぽ）静岡支部 企画総務グループ長）

座長 室井 延之（神戸市立医療センター中央市民病院 薬剤部長代行）

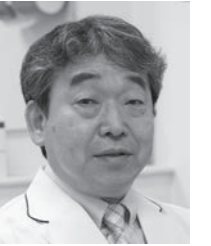
座長 松下英里香（地方独立行政法人奈良県立病院機構 奈良県西和医療センター 薬剤部長）

3. 一般演題（WEBポスターセッション）

質疑応答【令和3年11月5日（金）8:30～11:30】

テーマ 『地域医療におけるこれからの臨床検査技師のあり方』

市立奈良病院 院長
下川 充



近年における医療の進歩にはめざましいものがあります。この度のコロナ禍においても、臨床検査科がPCRをはじめとするCOVID19検査に果たした役割は非常に大きく、検査機器や試薬、キットなどが不足するなか多大なるご苦勞をおかけしました。また日本全体に目をむけると少子高齢化は更に加速し、がんやアルツハイマー患者も増加し、先端医療の需要がますます高まっていくことが予想される一方で、医療業界では地域医療構想や働き方改革、コロナ禍なども相まって医療従事者の不足が大きな課題となっております。

医師や看護師の負担を減らし、チーム医療の一員として臨床検査技師が病院経営に貢献するために、検査結果説明、検体採取、中央採血室での採血、超音波検査などを今後更に積極的に行うことが望まれます。臨床検査分科会としては、医療法等の一部を改正する法律に伴う「検体検査の精度の確保に係る基準」に関する台帳関係の整備など、各施設が必ず行わなければならない課題やこれから増加する遺伝子・ゲノム医療への対応など様々な問題もあります。

今回、臨床検査分科会では、地域医療やチーム医療における臨床検査技師のこれから（未来）に向けてしっかりと勉強していただくために、特別講演とシンポジウムを企画しました。特別講演では市立奈良病院臨床検査科の喜多英二先生に「感染対策チームに必要なマイクロバイオーム（microbiome）の知識」をお願いしております。喜多先生は長年奈良県立医科大学で微生物感染の基礎研究を続けられ、院内感染制御にとっての微生物環境への理解の重要性を伝えてこられました。微生物とヒトとの共生を中心にお話ししていただく予定です。

シンポジウムでは各分野において一線で活躍されている先生方をお招きし、チーム医療における専門分野の役割や検査技師のチーム医療との関わり方などについて講演していただきます。講演後の討論ではいろいろな問題点を浮き彫りにしていただき、皆様方の今後の診療に役立てればと考えております。そして一般演題はWEBポスターセッション形式にて行う予定です。本学会が皆様の日々の業務に役立つことを願うとともに、学会の合間には古都奈良を探索しリフレッシュしていただけることを信じて、多くの会員のご参加を心よりお待ちしております。

1. 特別講演【令和3年11月5日（金）8:30～9:30】

演題 「感染対策チームに必要なマイクロバイオーム（microbiome）の知識」

講師 喜多 英二（奈良県立医科大学 名誉教授、市立奈良病院 臨床検査室 臨床検査医）

座長 下川 充（市立奈良病院 院長）

2. シンポジウム【令和3年11月5日（金）9:30～11:30】

テーマ 「チーム医療における臨床検査技師のあり方」

シンポジストⅠ 「輸血療法とチーム医療」

奥田 誠（東邦大学医療センター大森病院 輸血部 次長）

シンポジストⅡ 「ICT/ASTにおける臨床検査技師のあり方」

幸福 知己（一般財団法人住友病院 臨床検査技術科 科長）

シンポジストⅢ 「糖尿病チーム医療に関わって」

小林 史孝（市立奈良病院 臨床検査室 主任）

シンポジストⅣ 「ウイルス性肝炎対策における当院の多職種連携」

塚田 孝法（公立丹南病院 臨床検査室 室長）

座長 樋口 武史（彦根市立病院 臨床検査科 科長）

コメンテーター 齋藤 勝彦（富山市立富山市民病院 副院長）

3. 一般演題（WEBポスターセッション）

質疑応答【令和3年11月4日（木）14:00～17:00】

テーマ 『最先端の進化する画像診断と治療 ～患者に寄り添ったチーム医療を目指して～』

国保中央病院 院長
阪井 利幸



近年の放射線医学の分野の発展はめざましく、CTやMRI、PETなどの医療機器の進歩による画像診断、またIVRならびに放射線治療の技術も飛躍的に向上し、医学全体への貢献に寄与して参りました。しかし、これらの分野の進歩や普及に伴って、患者にとってより安全で質の高い医療が求められています。どんなに医療技術や人工知能(AI)が発展、進化しても最終的な判断は人間の手に委ねられていると同時に患者の立場に立った、また患者に寄り添ったチーム医療が必要になってきています。

そこで、今回の放射線分科会のテーマは「最先端の進化する画像診断と治療 ～患者に寄り添ったチーム医療を目指して～」とさせていただきます。

特別講演は奈良県立医科大学附属病院 病院長の吉川公彦先生に「画像下治療(IVR)の現況と将来」と題してご講演いただきます。

また、シンポジウムは「放射線治療におけるチーム医療」をテーマに奈良県立医科大学 放射線腫瘍医学教室教授の長谷川正俊先生に座長をお願いして、放射線治療に関わるさまざまな職種の先生方に各施設で実践されておられるチーム医療の現状についてそれぞれの立場からのご講演をお願いしております。

そして、一般演題では、WEBポスターセッション形式で皆様の日頃の研究成果を発表していただき活発な討論をしていただく予定です。

どうぞ皆様から奈良大会に多数のご応募を頂き、またご参加をいただけることを心よりお待ちしております。

1. 特別講演【令和3年11月4日(木) 14:00～15:00】

演題	「画像下治療(IVR)の現況と将来」
講師	吉川 公彦(奈良県立医科大学附属病院 病院長)
座長	阪井 利幸(国保中央病院 院長)

2. シンポジウム【令和3年11月4日(木) 15:00～17:00】

テーマ	「放射線治療におけるチーム医療」
シンポジストⅠ	「チーム医療で取り組む集学的治療： 患者に寄り添ったテーラーメイド治療を目指して」 井上 正義(市立東大阪医療センター 放射線科 副部長)
シンポジストⅡ	「診療放射線技師の視点—臨床から研究まで—」 太田 誠一(京都府立医科大学附属病院 放射線技術課 主査)
シンポジストⅢ	「放射線治療におけるチーム医療～都立病院における医学物理士の役割～」 木藤 哲史(東京都立駒込病院 放射線物理室 医学物理士)
シンポジストⅣ	「放射線治療チームにおける看護師の役割」 橋口 周子(神戸大学医学部附属病院 緩和ケアセンター 看護師長)
座長	長谷川正俊(奈良県立医科大学 放射線腫瘍医学講座 教授)

3. 一般演題 (WEBポスターセッション) 質疑応答【令和3年11月5日(金) 8:30～11:30】

テーマ 『病院と地域を栄養で繋ぐ』

南和広域医療企業団 五條病院 院長
森安 博人



現在、本邦の医療現場では臨床栄養の重要性は十分認識されており、多くの病院でNSTが精力的に活動して入院患者の栄養状態の改善に努めています。

一方で、退院後に栄養療法を行う体制については地域により格差が見られ、未だ十分とは言えないのが実情です。また、病院から在宅への移行を推進する地域包括ケアシステム構築のためには、病院で行われた栄養介入の成果を在宅にしっかりと繋げていくことが、再入院の抑止や予後、QOLの改善のために不可欠です。このような現状を踏まえ、メインテーマを「病院と地域を栄養で繋ぐ」とさせていただきます。

特別講演の演者としては栄養全般に精通され、適切なPEGの造設と管理の普及について長年尽力されておられます西口幸雄先生にお願いしました。先生は現在、十三市民病院の病院長でもあり地域医療の視点からの提言も期待しております。

シンポジウムはメインテーマに沿って「病院から在宅へ-地域一体型NST構築に向けて-」と題して行います。それぞれの地域の現場で精力的に活動されている4人のシンポジストに病院、在宅の立場から発言、討論していただきます。最後に、地域包括ケアシステム発祥の地である、公立みつぎ総合病院で長年NSTを統括されている菅原由至先生の総括発言で締めたいと思います。地域包括ケアシステムを支えるための地域が一体となったNST活動について議論を深めて、有効な提言が導き出せることを期待します。

今回、本学会では初めての試みとしてリハビリテーション分科会との合同シンポジウムを企画しました。「リハ栄養で地域を守る」のテーマでリハビリの立場から若林秀隆先生に、栄養の立場から西岡心大先生にご講演、討論していただきます。

以上、関係する多くの皆様のご協力を得ることで魅力あるプログラムを組むことができたことと自負しております。後は、学会に参加される皆様に一人でも多く会場に足を運んでいただき、大いに会を盛り上げていただければ幸いです。

1. 特別講演【令和3年11月5日(金) 8:30～9:30】

演題	「病院と地域を栄養で繋ぐ」
講師	西口 幸雄(大阪市立十三市民病院 院長)
座長	森安 博人(南和広域医療企業団 五條病院 院長)

2. シンポジウム【令和3年11月5日(金) 9:30～11:30】

テーマ	「病院から在宅へ-地域一体型NST構築に向けて-」
シンポジストⅠ	「地域一体型NST構築に向けての取り組みと問題点」 真珠 文子(公立那賀病院 医療技術部 栄養科 科長)
シンポジストⅡ	「“病院から地域へ栄養をつなぐ”～退院支援看護師の立場から～」 山田 圭子(康生会武田病院 患者サポートセンター 退院支援看護師)
シンポジストⅢ	「病院と地域を栄養で繋ぐ」 中村 育子(名寄市立大学 保健福祉学部 栄養学科 准教授)
シンポジストⅣ	「全県下医療介護連携カルテを用いた在宅栄養サポート」 中山 真美(鳥根県立大学 看護栄養学部 健康栄養学科 教授)
総括発言	「地域包括ケアシステムと在宅NST」 菅原 由至(公立みつぎ総合病院 消化器外科 部長)
座長	窪地 淳(さいたま市立病院 名誉院長 兼 経営戦略特命参与)
座長	草間 大生(国家公務員共済組合連合会 三宿病院 栄養科 科長)

3. 一般演題 (WEBポスターセッション) 質疑応答【令和3年11月4日(木) 14:00～17:00】



リハビリテーション分科会

テーマ 『ロボット技術による地域医療の再生と未来』

地方独立行政法人奈良県立病院機構 奈良県総合リハビリテーションセンター 院長
川手 健次



団塊の世代が後期高齢者（75歳以上）に達する事により、介護・医療器などの社会保障費の急増が懸念されている問題が2025年問題で、これまで国を支えてきた段階の世代が給付を受ける側に回るため、医療費、社会保障やその他の課題にどう取り組んでいくかが大きな問題となります。介護の場面では介護側の高齢化、人材不足に対応するため外国人材の受け入れや介護ロボットが検討されています。介護ロボットについては平成27年度の補正予算にて52億円の予算があてられ「介護ロボット等導入支援特別事業」により最大92万7000円の助成金が出たことで話題になりました。また全国の各自治体から補助として1機器につき導入経費の1/2（上限30万円）が支給されることになりました。平成30年度からは介護ロボットフォーラムが各県で開催されることとなり、奈良県でも令和元年9月21日に奈良県営福祉パークにて“介護ロボット奈良フォーラム”が開催されました。

そこでリハビリテーション分科会では“ロボット技術による地域医療の再生と未来”をテーマとし、特別講演では藤田医科大学医学部ロボット技術活用地域リハビリ医学寄附講座教授の太田喜久夫先生に「IT・ロボット技術を活用した地域医療の展開」という演題でご講演いただき、シンポジウムでは自立支援に向けたロボット技術の活用というテーマで4名のシンポジストの先生方にご講演いただきます。

多数の皆様に参加していただき介護ロボットについて学んでいただくとともに、地域包括や回復期リハビリ、訪問や通所リハビリなどリハビリテーションに関するいろいろな情報交換の場になりますようスタッフ一同お待ちしております。

1. 特別講演【令和3年11月5日（金）8:30～9:30】

- 演題 「IT・ロボット技術を活用した地域医療の展開」
- 講師 太田喜久夫（藤田医科大学 医学部 ロボット技術活用地域リハビリ医学 教授）
- 座長 川手 健次（地方独立行政法人奈良県立病院機構 奈良県総合リハビリテーションセンター 院長）

2. シンポジウム【令和3年11月5（金）9:30～11:30】

- テーマ 「自立支援に向けたロボット技術の活用」
- シンポジストⅠ 「介護ロボットの現状と今後の展望 ～普及に向けての取り組み～」
東 祐二（国立障害者リハビリテーションセンター研究所 障害工学研究部 部長）
- シンポジストⅡ 「『介護ロボット導入に求められる視点』～導入と考え方～」
河添竜志郎（株式会社くすま 代表取締役・理学療法士）
- シンポジストⅢ 「奈良県における介護ロボットニーズ・シーズ連携協調協議会設置事業の取り組みについて」
西井 正樹（大阪人間科学大学 保健医療学部 作業療法学科 教授）
- シンポジストⅣ 「島根県における介護ロボットニーズ・シーズ連携協調協議会設置事業の取り組みについて」
小林 央（大田市立病院 診療技術部 リハビリテーション技術科 副科長）
- 座長 中村 春基（日本作業療法士協会 会長）
- 座長 小島 康宣（南和広域医療企業団 南奈良総合医療センター 副院長）

3. 一般演題（WEBポスターセッション）

質疑応答【令和3年11月4日（木）14:00～17:00】



栄養・リハビリテーション分科会合同シンポジウム

1. シンポジウム【令和3年11月4日（木）15:30～17:00】

- テーマ 「リハ栄養で地域を守る」
- シンポジストⅠ 「サルコペニア・悪液質のリハ栄養」
若林 秀隆（東京女子医科大学病院 リハビリテーション科 教授）
- シンポジストⅡ 「生活を見据えた回復期リハビリテーション病棟における栄養管理」
西岡 心大（長崎リハビリテーション病院 法人本部人材開発部 副部長 兼 栄養管理室 室長）
- 座長 大渡 崇世（社会医療法人甲友会 西宮協立リハビリテーション病院 リハビリテーション部 言語聴覚療法科 課長）
- 座長 福岡 篤彦（南和広域医療企業団 吉野病院 院長）

テーマ 『臨床工学技士の可能性を拓く』

大和高田市立病院 院長
岡村 隆仁

臨床工学技士は、現在の医療に不可欠な医療機器のスペシャリストで、医療機器の安全確保と有効性維持の担い手としてチーム医療に欠かせない存在です。さらに、将来において臨床工学技士が担っていく業務の形態や内容は、社会の変化や医療機器の進歩により、益々多様化するものと考えられます。

今回の分科会のテーマは、「臨床工学技士の可能性を拓く」で、特別講演とシンポジウムを予定しております。特別講演では、今村知明先生に、「医療や臨床工学技士を取り巻く情勢の現状と課題」について、ご講演を賜ります。またシンポジウムでは、「地域医療の充実に臨床工学技士がなすべき役割・在宅医療における臨床工学技士の関わり方」をテーマとし、臨床工学技士の関わる新しい医療分野や在宅医療への貢献を目指した取り組み等について、ご講演を賜ります。

また一般演題では、WEBポスターセッション形式で、皆様の日頃の研究成果を討論していただく予定です。皆様から多数のご応募、ご参加を宜しくお願い申し上げます。

1. 特別講演【令和3年11月4日（木）14:00～15:20】

演題	「医療や臨床工学技士を取り巻く情勢の現状と課題」
講師	今村 知明（奈良県立医科大学 公衆衛生学講座 教授）
座長	萱島 道徳（公益社団法人日本臨床工学技士会 専務理事）

2. シンポジウム【令和3年11月4日（木）15:20～17:00】

テーマ	「地域医療の充実に臨床工学技士がなすべき役割・在宅医療における臨床工学技士の関わり方」
シンポジストⅠ	「急性期病院としての在宅医療への関わり」 相嶋 一登（横浜市立市民病院 臨床工学部 医療機器管理担当係長）
シンポジストⅡ	「小児における在宅医療における臨床工学技士の関わり」 大野 進（滋賀県立総合病院 滋賀県立小児保健医療センター 臨床工学部 主査）
シンポジストⅢ	「睡眠呼吸障害検査治療における外来在宅支援業務の実際 ～臨床工学技士は地域包括ケアシステムにどう向き合うべきか～」 筒井 大輔（南和広域医療企業団 南奈良総合医療センター 医療技術センター 係長）
シンポジストⅣ	「遠隔モニタリングを用いた植込み型心臓デバイスの地域連携管理」 高垣 勝（滋賀県立総合病院 臨床工学部 主任技師長）
シンポジストⅤ	「在宅血液透析（HHD）での自治体病院CEの役割 ～HHDトレーニングから導入後サポートまで～」 戸田 晃央（茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター 医療機器管理部 臨床工学技術科 透析技術認定士）
座長	前田 智美（小松市民病院 臨床工学科 主査）
座長	菊池 雄一（岩手県立胆沢病院 臨床工学技術科 主査）

3. 一般演題（WEBポスターセッション）

質疑応答【令和3年11月5日（金）8:30～11:30】

テーマ 『働き方改革とチーム医療』

地方独立行政法人奈良県立病院機構 理事長
上田 裕一

これまでの残業時間の長い労働環境を改善するため、政府が「働き方改革」を提唱し、社会全体で取り組みが開始されています。

医療機関は、「ひと」が「もの」を使ってサービスを提供する労働集約型産業の典型です。日本の医療は、医師をはじめとした医療従事者の自己犠牲的な長時間労働により支えられてきましたが、この医療を将来にわたって存続させていくためには、現状を変えていく必要があります。医療は医師だけでなく様々な職種が連携し、チームで提供されるものです。患者さんへのきめ細やかなケアによる医療の質向上や、医療従事者の効率的な医療提供による負担軽減を進めるため、さらにチーム医療を推す必要があります。

こうした現状から、「働き方改革とチーム医療」を本分科会のテーマとしました。特別講演Ⅰ「チーム医療推進による働き方改革への一歩」では、三重県立総合医療センターの新保秀人理事長・病院長、国立病院機構 宇多野病院 高田幸千子看護部長、社会医療法人生長会 ベルランド総合病院 川口真嗣参与から、それぞれ医師、看護師、事務職の立場からご講演いただきます。特別講演Ⅱ「安定経営を目指した病院経営」では、公立豊岡病院組合立豊岡病院 管理部 白髭清久部長、那覇市立病院 砂川敦（元）事務局長から取り組み事例を交えてご講演をお願いしています。さらには、全国自治体病院協議会の医療の質の評価・公表等推進事業では、パスの活用をテーマにシンポジウムを行います。一般演題は、WEBポスターセッション形式で行います。

上記、議論を深めていただく場を設けて、秋のベストシーズンを奈良の地にて皆様をお待ちしています。どうぞ奮ってご参加ください。

1. 特別講演Ⅰ【令和3年11月4日（木）14:00～15:30】

テーマ	「チーム医療推進による働き方改革への一歩」
演題	「当院のめざす働き方改革とチーム医療」
講師	新保 秀人（地方独立行政法人三重県立総合医療センター 理事長・病院長）
演題	「看護をとりまく働き方改革のいろいろ」
講師	高田幸千子（独立行政法人国立病院機構 宇多野病院 看護部長）
演題	「働き方改革とチーム医療」
講師	川口 真嗣（社会医療法人生長会 ベルランド総合病院 参与）
座長	上田 裕一（地方独立行政法人奈良県立病院機構 理事長）

2. 特別講演Ⅱ【令和3年11月4日（木）15:30～17:00】

テーマ	「安定経営を目指した病院経営」
演題	「ビジョナリーホスピタルをお手本にした病院経営の取り組み」
講師	白髭 清久（公立豊岡病院組合立豊岡病院 管理部長 兼 経営部 参事）

- 演題** 「ベクトルを合わせた病院経営の取り組み」
- 講師** 砂川 敦（地方独立行政法人那覇市立病院（元）事務局長）
- 座長** 村田 庄司（地方独立行政法人奈良県立病院機構 奈良県総合医療センター 特命院長補佐）

3. シンポジウム【令和3年11月4日（木）14:00～15:30】

- テーマ** 「医療の質の評価・公表等推進事業 パスの活用と医療の質改善活動」
- シンポジストⅠ** 「当院におけるパス使用率向上の取り組み」
長野 祐久（地方独立行政法人福岡市立病院機構 福岡市民病院 脳神経内科 科長、
脳神経・脳卒中センター長）
- シンポジストⅡ** 「クリニカルパスと地域連携」
吉原 秀一（大館市立総合病院 院長）
- シンポジストⅢ** 「パス改善を契機とした職員の経営意識改革」
前田 博教（高知県立あき総合病院 病院長）
- シンポジストⅣ** 「当院におけるクリニカルパス活用策について」
伊藤 誠司（地方独立行政法人市立秋田総合病院 理事長・病院長）
- シンポジストⅤ** 「クリニカルパスと精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」
青木 勉（地方独立行政法人総合病院国保旭中央病院
院長補佐 兼 神経精神科・児童精神科 主任部長）
- 座長** 窪地 淳（さいたま市立病院 名誉院長 兼 経営戦略特命参与、
臨床指標評価検討委員会 委員長）
長尾真理子（埼玉県立精神医療センター 病院長、臨床指標評価検討委員会 副委員長）

4. 一般演題（WEBポスターセッション） 質疑応答【令和3年11月5日（金）8:30～11:30】

テーマ 『待ったなしの今、地域包括ケアの実践 —地域で多職種連携で患者中心の医療・看護・介護を実践する—』

宇陀市立病院 院長
仲川 喜之



少子超高齢社会を迎える医療福祉問題（2025年問題）の切り札として、国から2013年「地域包括ケアシステム」の概念が示され、2014年「地域包括ケア病棟」が新設されました。本システムの目的は「患者本人・家族の心構え」を基盤とし、「住まい・生活支援」のもと、「医療、看護、介護、リハビリ、保健・予防」の専門的サービスを提供し、暮らしやすい地域社会を作っていくことであり、本システムの中核をなすのが我々、自治体病院です。現在、全国各地域にて地域医療構想とともに本システムの構築が進められておりますが、コロナ禍の今こそ、本システムの早期確立が切望されています。そこで今回、「待ったなしの今、地域包括ケアの実践—地域で多職種連携で患者中心の医療・看護・介護を実践する—」をメインテーマとし、宇都宮宏子先生には「この町で“暮らす”、そして“生ききる”に伴走する ～ACPをつなぎ、紡いでいますか？～」と題し、入院・退院、そして外来での節目、軌道に沿った医療・看護のあり方、そして、移行期支援と、ACP（心づもり）を地域でつなぐための医療・看護・ケア実践についてご講演いただきます。小山珠美先生には「人生の最期まで口から食べ続けられる社会を目指して」と題し、口から食べることの幸福感や重要性、食べたい願いをサポートして、生きている限り、幸せな気持ちで人々が暮らせる優しい地域づくりについてご講演いただきます。

なお、本学会では、地域医療・連携・福祉分科会においては精神科領域のシンポジウムを開催することとなりました。多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

また、一般演題はWEBポスターセッション形式で発表していただきます。日頃の取り組みや研究成果など全国から多数のご応募があり、活発な討論が行われることを期待しております。

1. 特別講演Ⅰ【令和3年11月5日（金）8:30～9:50】

- 演題** 「この町で“暮らす”、そして“生ききる”に伴走する～ACPをつなぎ、紡いでいますか？～」
- 講師** 宇都宮宏子（在宅ケア移行支援研究所 宇都宮宏子オフィス）
- 座長** 仲川 喜之（宇陀市立病院 院長）

2. 特別講演Ⅱ【令和3年11月5日（金）10:00～11:20】

- 演題** 「人生の最期まで口から食べ続けられる社会を目指して」
- 講師** 小山 珠美（NPO法人口から食べる幸せを守る会 理事長）
- 座長** 明石 陽介（南和広域医療企業団 南奈良総合医療センター 総合診療科 部長）

3. 一般演題（WEBポスターセッション） 質疑応答【令和3年11月4日（木）14:00～17:00】



地域医療・連携・福祉分科会 (精神科領域)

1. シンポジウム【令和3年11月5日(金) 8:30～10:00】

テーマ 「地域高齢者にみられるこころの諸問題」

シンポジストⅠ 「高齢者のうつ、不安」

森川 将行 (三重県立こころの医療センター 院長)

シンポジストⅡ 「高齢者の問題飲酒について」

北村 立 (石川県立高松病院 院長)

シンポジストⅢ 「認知症初期集中支援チームによるセルフネグレクトケースへの対応
～ごみ屋敷問題への解決に向けて～」

堤 友喜美 (伊勢市健康福祉部高齢者支援課包括支援係 保健師)

座長 岩田 和彦 (地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪精神医療センター 院長)



学会参加登録

1. 事前参加登録受付期間 令和3年4月8日(木)～8月31日(火) 正午

2. 学会参加費

(1) 一般 11,000円 (当日参加費は12,000円)

・プログラム・抄録集代を含みます。

※感染対策のため、当日受付は1箇所(なら100年会館)のみ設置いたします。できるだけ事前参加登録をお願いします。

(2) 学生(大学、看護・医療系専門学校の学生及び初期研修医) 無料・当日登録のみ

・プログラム・抄録集が必要な方は、学会当日会場にて2,000円で販売いたします。

3. 参加申込方法・区分

事前参加登録は、インターネットにてオンライン登録をお願いいたします。

申し込みURL <http://www.c-linkage.co.jp/59jmha/>

本システムをご利用の方は、以下のブラウザをご利用ください。

Microsoft Internet Explorer 11 以降 (Windows)

Safari 11 以降 (Macintosh)

Google Chrome 70 以降 (Windows, Macintosh)

Mozilla Firefox 63 以降 (Windows, Macintosh)

※JavaScriptを許可するように設定してください。

・締切当日はアクセスが集中し、登録に支障をきたすことが考えられますので、余裕を持ってご登録ください。

・応募者自身が間違えて入力した内容につきましては、事務局では一切責任を負いません。

登録ボタンを押す前に、必ず内容に間違いがないかどうかをご確認ください。

【参加申込区分】

参加種別	申込方法	支払方法	事前送付物	当日会場での受付
事前登録	オンライン	銀行振込	参加証・領収証、 プログラム・抄録集等	不要
当日登録	当日会場 なら100年会館	現金のみ	なし	申込書記入、参加費納入、 参加証・領収証発行、 プログラム・抄録集等受取

※学生の方の申し込み方法は、当日登録のみとなります。

プログラム・抄録集が必要な方は、学会当日会場にて2,000円で販売いたします。

※本学会ではランチョンセミナーの事前申し込みは承っておりません。詳しくはP.25をご参照ください。

【団体登録について】

・同一病院・施設内の複数名分の学会参加申し込みを、まとめて登録することができます。

団体登録は30名分まで登録可能です。

・団体登録は、登録者の中から1名代表者(連絡担当者)を決定して代表者の方が登録をしてください。

ご参加されない方を代表者(連絡担当者)にすることはできませんのでご注意ください。代表者(連絡担

当者)を通じて一括登録、一括入金、ネームカード・抄録集等の一括発送をさせていただきます。
 ・団体登録の各個人宛への個別送付は対応いたしかねますのでご了承ください。個別に発送をご希望される場合は、個人登録をご利用ください。
 ・団体・個人での二重登録には十分ご注意ください。

4. 参加分科会区分

お申し込みの際には、参加を予定する分科会名を以下より1つご選択ください。
 ※該当する分科会が複数ある場合も、以下より1つご選択ください。

- | | | |
|-----------------|-----------|------------|
| A：看護・看護教育分科会 | B：臨床医学分科会 | C：薬剤分科会 |
| D：臨床検査分科会 | E：放射線分科会 | F：栄養分科会 |
| G：リハビリテーション分科会 | H：臨床工学分科会 | I：経営・管理分科会 |
| J：地域医療・連携・福祉分科会 | | |

5. お申し込みの流れ

【事前参加登録】

- 本学会ホームページの「参加登録」から画面の案内に従ってご登録ください。
- 事前参加登録完了後、E-mailがご登録のメールアドレスに配信されます。24時間経過しても届かない場合は、登録が完了していない可能性がございますので、運営事務局（P.25）までご連絡ください。
- 申込内容変更・取消について
登録内容の変更・取消をご希望される方は、E-mailにて運営事務局（P.25）までご連絡ください。
- お支払方法
銀行振込みのみ
振込期限：令和3年9月8日（水）
ご登録は、ご入金の確認をもって完了となります。振込期限までにご入金を確認できない場合は、事前参加登録が取消となり、当日登録をしていただくこととなりますので、ご注意ください。
お振込口座は、下記2箇所に記載されております。
 - オンライン参加登録手続きの画面
 - オンライン参加登録完了後、自動的に配信されるE-mail
 ※振込手数料は参加登録者負担でお願いいたします。
 ※お振り込みの際には参加登録の受付Noと参加登録者氏名（例：0001 奈良太郎）を振込依頼人欄にご入力ください。参加登録者以外の振込人名義でお振り込みされますと、確認ができずに料金未納の扱いとなる場合がございます。
 ※お振り込みはご登録後なるべくお早めをお願いいたします。
- 送付物
事前参加登録をされた方には、入金確認後、10月中旬（予定）に申込者（代表者）宛に以下の物をご送付いたします。

・学会参加証	・プログラム・抄録集
・領収証（※発行は全て個別となります）	・ランチョンセミナー、イブニングセミナー引換券

【当日参加登録】

なら100年会館1階受付前に設置しております申込書に予め必要事項をご記入の上、受付にてお手続きください。
 参加費のお支払いは、現金のみにて受け付けております。

6. 取消料について

お申し込み後、止むを得ずご参加を取り消しされる場合には、下記の取消料を申し受けます。
 なお、変更・取消をご希望される方は、E-mailにて下記運営事務局までご連絡ください。
 ※お電話およびFAXでの変更・取消は、受付をいたしませんので、ご注意ください。

取消期間	学会参加費	交流会参加費	備考
令和3年8月31日まで	取消料なし	取消料なし	プログラム・抄録集等は送付しません
令和3年9月1日以降	参加費全額	参加費全額	プログラム・抄録集等は送付します

7. ランチョンセミナー・イブニングセミナーについて

本学会では、ランチョンセミナー（昼食付）、イブニングセミナー（軽食付）を企画しております。参加される場合には参加券が必要となります。ランチョンセミナー、イブニングセミナーの参加券は、下記の要領にて配布いたします（参加券は参加証に添付されている引換券との交換になります）。数に限りがございますので、お早めにご来場ください。

- 配布場所：奈良県コンベンションセンター 1階ロビー（予定）
なら100年会館 1階エントランスホール（予定）
- 配布日時：11月4日（木） 8：00～11：00（予定）※規定枚数に達し次第、終了
11月5日（金） 7：30～11：00（予定）※規定枚数に達し次第、終了
※会場には参加券をお持ちの方から優先的にご入場いただけます。
※参加券は、セミナー開始後に無効とさせていただきます。

8. 託児所について

本学会では託児所のご用意はございません。

9. お問い合わせ先

運営事務局：株式会社コンベンションリンケージ
 〒531-0072 大阪市北区豊崎3-19-3 PIAS TOWER 11F
 TEL：06-6377-2188 FAX：06-6377-2075
 E-mail：59jmha@c-linkage.co.jp
 <お問い合わせ受付時間>月曜～金曜（祝祭日除く）9：30～17：30

一般演題（WEBポスターセッション）を公募いたします。
多数の皆様の申し込みをお待ちしております。

演題募集期間

令和3年4月8日（木）～6月15日（火）正午

1. 発表形式

A WEB発表（5分）

ポスター発表はポスターデータ（①音声入りスライドデータ [発表動画]、②スライドデータ [PDF]、もしくは①と②の両方）を事前にご提出をいただくオンライン発表形式です。「紙ポスター」を閲覧用として掲示していただきます。

B 質疑応答（5分）

演題申込者は当日現地にて会場内の貼付位置に紙ポスターを掲示いただくとともに、あらかじめ設定させていただく時間帯に、会場内のご自身のポスター前にて、閲覧者との質疑応答を行っていただきます。

2. 演題発表申し込み方法

- ・演題発表申し込みはすべてUMIN オンライン演題登録にて受け付けます。
登録された演題は、演題発表申し込み締切日までオンライン上で修正、削除することができます。

申し込み URL <http://www.c-linkage.co.jp/59jmha/>

【注意事項】

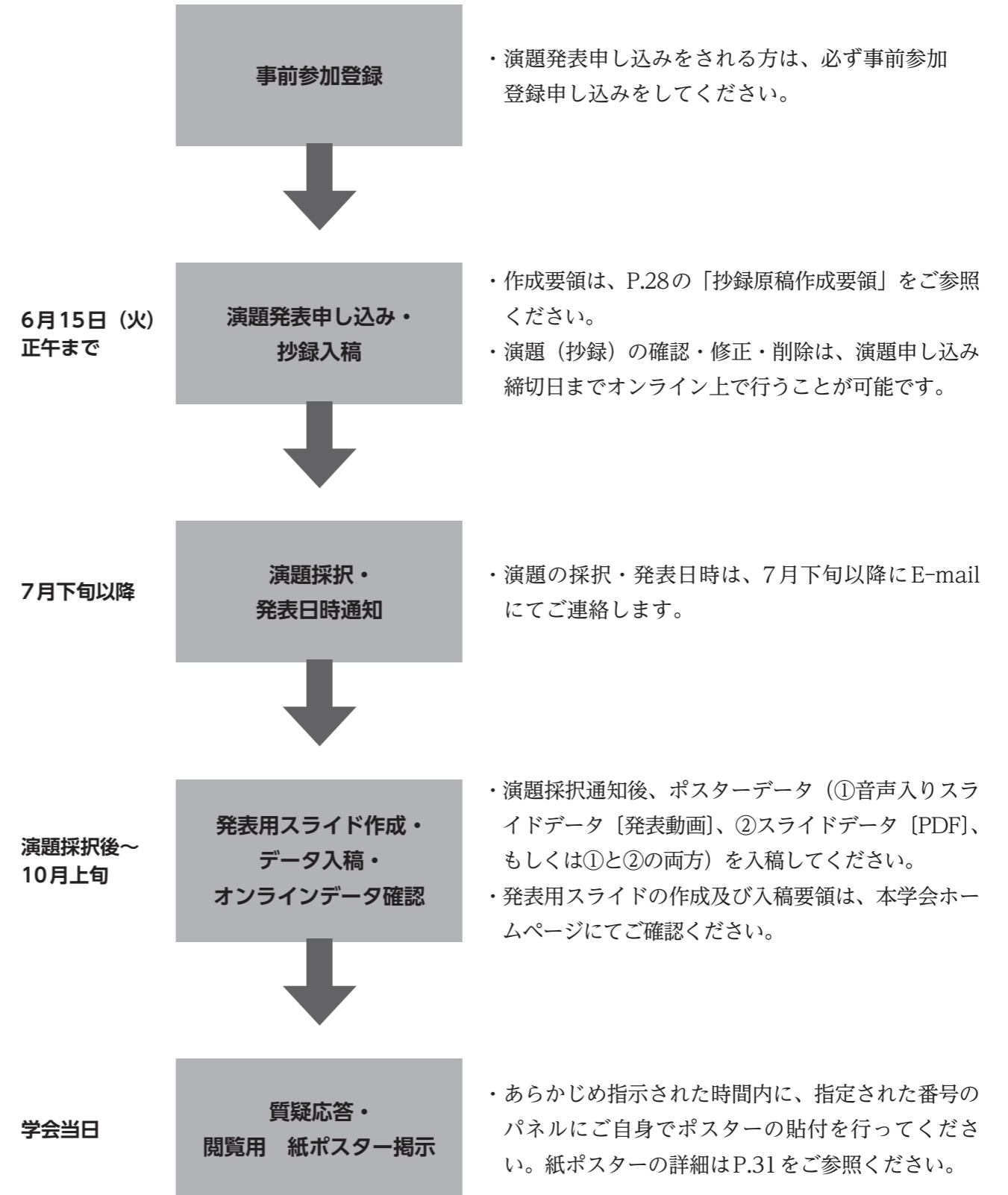
- ・演題発表申し込みをされる方は、必ず事前参加登録申し込みをしてください。
- ・締切当日はアクセスが集中し、登録に支障をきたすことが考えられますので、余裕を持ってご登録ください。
- ・応募者自身が間違えて入力した内容につきましては、事務局では一切責任を負いません。
登録ボタンを押す前に、内容に間違いがないかをご確認ください。
- ・演題の採択、および発表分科会等の決定は学会長に一任願います。
ご希望に沿えない場合もございますが、ご了承ください。

※ご利用可能なブラウザとバージョン：

- ・Firefox 最新バージョンを推奨
- ・Google Chrome 最新バージョンを推奨
- ・Internet Explorer 最新バージョンを推奨
- ・Microsoft Edge 最新バージョンを推奨
- ・Safari 最新バージョンを推奨

3. 演題発表申し込みから発表当日までの流れ

※ポスターセッションについては、P.30にも記載しておりますので、ご参照ください。
※最新情報は、本学会ホームページに掲載いたします。



4. 抄録原稿作成要領

(1) 発表希望分科会

発表希望分科会を以下から選択してください。

A：看護・看護教育分科会

A-1 急性期看護	A-2 慢性期看護	A-3 外来看護
A-4 認知症看護	A-5 在宅看護	A-6 救急看護
A-7 災害看護	A-8 精神看護	A-9 小児看護
A-10 母性看護	A-11 がん看護	A-12 看護倫理
A-13 看護管理・情報管理	A-14 看護教育	A-15 看護業務改善
A-16 感染管理	A-17 医療安全	A-18 チーム医療
A-19 その他		

B：臨床医学分科会

B-1 自由演題	B-2 専門医制度	B-3 医師の働き方改革
B-4 医療安全・医療の質	B-5 医療連携	B-6 災害時医療

C：薬剤分科会

C-1 医薬品調整	C-2 医薬品管理	C-3 医薬品情報
C-4 医療安全	C-5 薬物治療	C-6 がん化学療法
C-7 抗菌化学療法・感染制御	C-8 精神科領域	C-9 チーム医療
C-10 薬剤管理指導	C-11 病棟薬剤業務	C-12 医療経済
C-13 薬薬連携	C-14 教育研究	C-15 治験・臨床試験
C-16 経営	C-17 その他	

D：臨床検査分科会

D-1 管理・運営	D-2 輸血	D-3 免疫
D-4 生化学	D-5 血液	D-6 一般
D-7 病理	D-8 細胞診	D-9 微生物
D-10 生理	D-11 チーム医療	D-12 その他

E：放射線分科会

E-1 X線検査	E-2 CT検査	E-3 MRI検査
E-4 血管撮影	E-5 核医学検査	E-6 放射線治療
E-7 放射線管理	E-8 医療情報管理	E-9 その他

F：栄養分科会

F-1 糖尿病	F-2 がん・緩和	F-3 摂食・嚥下障害
F-4 周術期栄養管理	F-5 リハ栄養	F-6 栄養食事指導
F-7 災害時栄養管理	F-8 地域連携・在宅	F-9 チーム医療
F-10 給食管理	F-11 その他	

G：リハビリテーション分科会

G-1 管理・運営	G-2 調査・統計	G-3 高次脳機能障害
G-4 神経系疾患	G-5 内部障害	G-6 骨関節系疾患
G-7 がんリハビリ	G-8 摂食・嚥下	G-9 生活環境支援
G-10 小児リハビリ	G-11 地域リハビリ	G-12 ロボットリハビリ
G-13 その他		

H：臨床工学分科会

H-1 呼吸	H-2 循環	H-3 代謝
H-4 医療機器管理	H-5 手術	H-6 その他

I：経営・管理分科会

I-1 病院経営	I-2 運営管理	I-3 医療の質管理
I-4 リスクマネジメント	I-5 情報システム	I-6 患者サービス
I-7 その他		

J：地域医療・連携・福祉分科会

J-1 退院支援・退院調整	J-2 地域医療ネットワーク	J-3 ICT地域医療ネットワークシステム
J-4 がん相談・支援	J-5 地域包括ケア・在宅医療	J-6 地域・住民との連携
J-7 ソーシャルワーク実践	J-8 チーム医療	J-9 その他

(2) 共同研究者はスペースの関係上、最大9名（演題発表者を含む）としてください。

(3) 共同研究者の所属が異なる場合は、原則として合計で最大5施設としてください。

(4) 演題名は全角60文字以内で簡潔にまとめて作成してください。なお、英数字は半角2文字を全角1文字と換算いたします。

(5) 抄録本文は全角1,000文字以内とし、内容は【目的】、【方法】、【結果】、【結論】の順に必ず項目を立てて記述してください。なお、英数字は半角2文字を全角1文字と換算いたします。

図表をご登録する場合は抄録本文の文字数は670文字以内となりますので、ご注意ください。

(6) 抄録本文作成上の注意

・抄録本文は、最初にご自身のPCのソフトで作成し、コピー機能を使って貼り付けされることをお勧めします。

・先頭行も1マスあけずに左詰めで記入してください。

5. お問い合わせ先

運営事務局：株式会社コンベンションリンクージ

〒531-0072 大阪市北区豊崎3-19-3 PIAS TOWER 11F

TEL：06-6377-2188 FAX：06-6377-2075

E-mail：59jmha@c-linkage.co.jp

<お問い合わせ受付時間>月曜～金曜（祝祭日除く）9：30～17：30

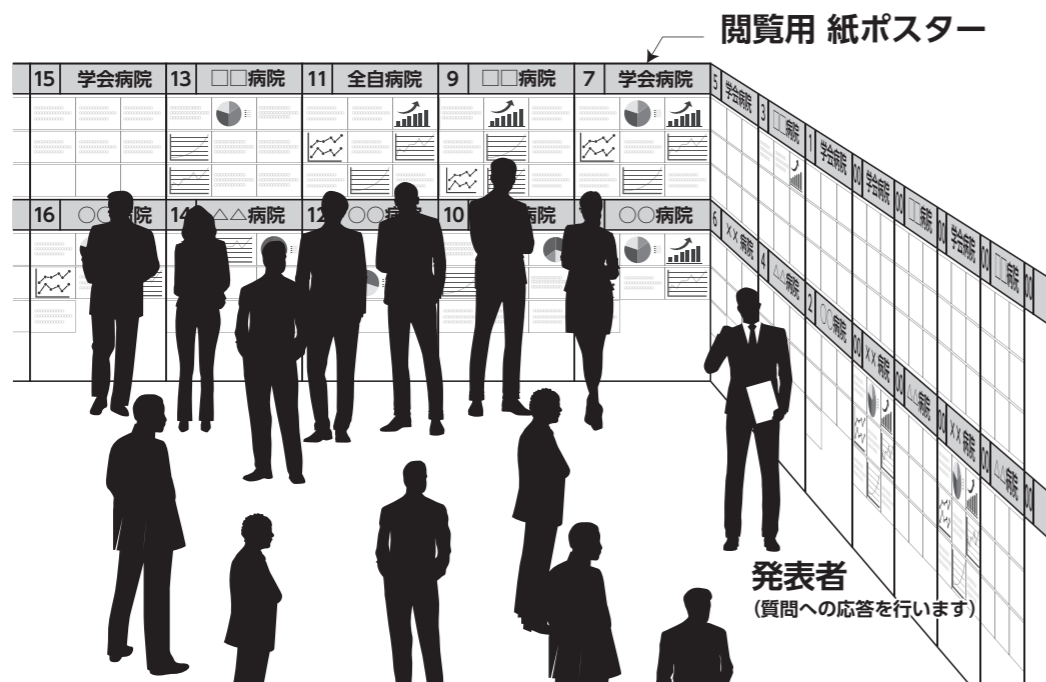
1. 発表形式について

WEB発表（質疑応答5分）

ポスター発表はポスターデータ（①音声入りスライドデータ [発表動画]、②スライドデータ [PDF]、もしくは①と②の両方）を事前にご提出をいただき、WEB上で閲覧いただくオンライン発表形式です。発表者は会期中、会場内のご自身のポスター前に所定の時間帯にお立ちいただき、閲覧者との質疑応答を行います。

演題申込者は発表用の音声入りスライドデータの動画提出と当日の閲覧用紙ポスター掲示、現地での質疑応答が必須となります。

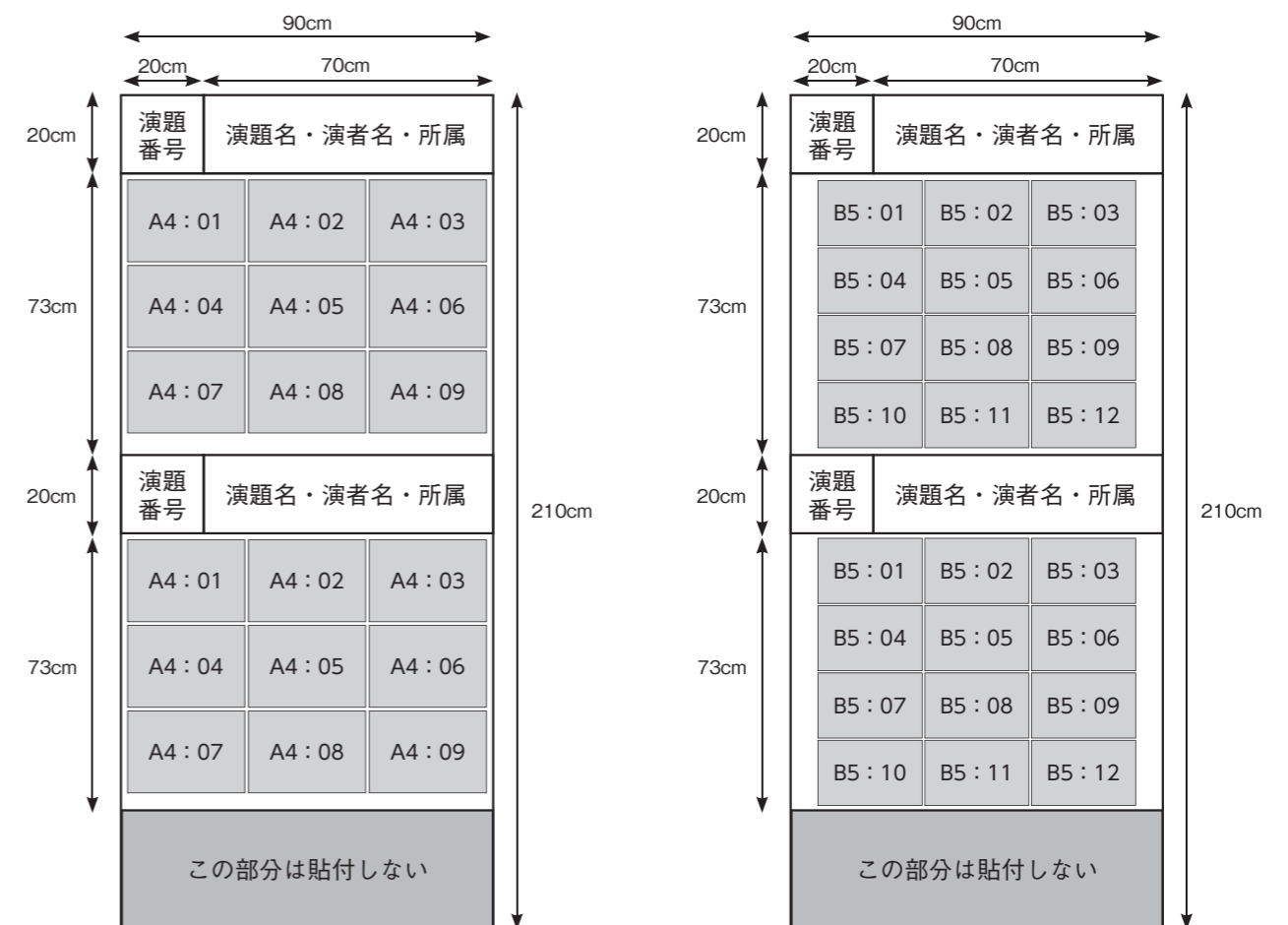
ポスターセッション閲覧イメージ



2. 閲覧用紙ポスターについて

- ・演題ごとに下記のような大きさのパネルを用意いたします。あらかじめ指定時間内に、指定された演題番号のパネルにご自身で紙ポスターの貼付を行ってください。
- ・本学会は発表日にかかわらず全ポスターを2日間掲示する形式といたしますので、参加スケジュールが許す限りご協力ください。
- ・掲示・撤去は、指定時間内に各自の責任にてお願いいたします。また、撤去時間以降に残っているポスター等は、事務局にて処分いたしますので、予めご了承ください。

紙ポスターパネルイメージ



- ・パネル左上の演題番号は、事務局で用意いたしますので、その右側に演題名・演者名・所属を表示してください。
- ・紙ポスターはA4:9枚程度または、B5:12枚程度で作成をお願いいたします。パネルのサイズに準拠していただければ、長尺用紙での掲示も可能です。
※ポスターパネルの詳細については、本学会ホームページをご参照ください。

この度第59回全国自治体病院学会に出席されます皆様方のご便宜を図るため、宿泊のお世話を株式会社日本旅行大阪法人営業統括部MICE営業部にて取り扱わせていただく事となりました。全国各地よりご参加される皆様方に宿泊のご案内を下記にて申し上げます。

■宿泊ホテルリスト一覧（空室状況については、宿泊受付サイトにてご確認ください）

No.	宿泊施設名	お部屋の種類	2021/11/3 (水) 1泊朝食付 (お1名様あたり)	2021/11/4 (木) 1泊朝食付 (お1名様あたり)	2021/11/5 (金) 1泊朝食付 (お1名様あたり)	交通アクセス
①	JWマリオット・ホテル奈良	ツイン1名利用	¥49,280	¥49,280	¥49,280	近鉄新大宮駅より徒歩12分
②	ホテル日航奈良	シングル	¥15,950	¥15,950	¥15,950	JR奈良駅より徒歩1分
③	奈良ホテル	ツイン1名利用	¥42,570	¥42,570	¥42,570	JR奈良駅より車で8分
④	ピアッツァホテル奈良	ダブル1名利用	¥12,200	¥12,200	¥13,000	JR奈良駅より徒歩1分
⑤	ダイワロイヤルホテル D-PREMIUM 奈良	禁煙ダブル 1名利用	¥12,250	¥12,250	¥12,250	JR奈良駅より徒歩3分
⑥	コンフォートホテル奈良	シングル	¥10,700	¥10,700	¥10,700	JR奈良駅より徒歩3分
⑦	奈良ワシントンホテルプラザ	シングル	¥7,700	¥7,700	¥7,700	JR奈良駅より徒歩5分
⑧	ホテルアジュール・奈良	シングル	¥9,900	¥9,900	¥9,900	近鉄奈良駅より徒歩5分
⑨	ホテル葉風泰夢	禁煙シングル	¥7,700	¥7,700	¥7,700	近鉄新大宮駅より徒歩1分
⑩	ホテル尾花	シングル	¥11,440	¥11,440	¥11,440	近鉄奈良駅より徒歩10分
⑪	ホテルウェルネス飛鳥路	ツイン1名利用	HP掲載予定	HP掲載予定	HP掲載予定	市内循環バス「破石町」 停留所より徒歩1分
⑫	ホテルリガール春日野	シングル	HP掲載予定	HP掲載予定	HP掲載予定	近鉄奈良駅より徒歩15分
⑬	奈良ロイヤルホテル	シングル	¥11,000	¥11,000	¥11,000	近鉄新大宮駅より徒歩10分
⑭	ホテルアジュール・ 奈良アネックス	シングル	HP掲載予定	HP掲載予定	HP掲載予定	路線バス「三条大路一丁目」 停留所より徒歩1分
⑮	THE KASHIHARA	ツイン1名利用	¥16,100	¥16,100	¥16,100	近鉄橿原神宮前駅より徒歩1分
⑯	カンデオホテルズ奈良橿原	ダブル1名利用	¥11,000	¥11,000	¥11,000	近鉄大和八木駅より徒歩3分



お申込みの際は空室状況の確認、及びお支払手続きをご確認いただき、下記宿泊受付ホームページからご予約ください。

■宿泊予約受付ホームページアドレス：<https://va.apollon.nta.co.jp/59jmha/>
※学会ホームページにリンクされます。

■宿泊期間：2021年11月3日（水）・11月4日（木）・11月5日（金）の3泊

■宿泊料金：1泊朝食付税金サービス料込のお一人様料金です。

■お申込方法：(1) 上記URLへアクセスしてください。宿泊予約受付サイトへジャンプします。
(2) 宿泊予約受付サイト内をご確認いただき、各自お申込みください。

■お支払い方法：クレジットカード決済、銀行振り込み、コンビニ決済が可能です。
詳しくは宿泊予約受付サイトをご確認ください。

■申込み締切日：10月20日（水）23:59 まで

奈良のみどころ

○奈良県の魅力

奈良県は、日本のはじまりの地であり、日本国内では最多となる3つの世界遺産が登録されており、数多くの史跡、国宝、文化財や自然に囲まれています。日本の古き街並みが残る奈良県には、ゆったりとした空間が流れており、のんびりと旅行を楽しみたい人たちの癒しの場です。関西の真ん中に位置し交通網が整備されているので、乗り換えなしで、大阪や京都など比較的隣都市への移動も便利です。

○奈良のおすすめ観光地

- 【奈良国立博物館】・・・奈良公園内に位置し、周辺には世界遺産に指定された春日大社、東大寺、興福寺などがあります。重要文化財などを含む日本屈指の仏像が数多く展示されています。また、学会期間中は「正倉院展」の実施も予定されています。
- 【橿原神宮】・・・日本の原点とも言われる橿原の地に創建されました。非常に格式が高く、毎年多くの行事が開催されています。
- 【石舞台古墳】・・・日本最大級の古墳です。周囲は芝生広場になっているため、四季を問わず景色を楽しむことができます。
- 【金峯山寺】・・・2004年に世界遺産登録された紀伊山地の霊場と参詣道の構成資産のひとつです。桜や紅葉のみどころである吉野山から徒歩圏内で訪れることができます。
- 【十津川温泉】・・・日本一大きな村にある温泉地です。十津川温泉周辺には、最も多くの宿泊施設や商店などが集まっており、また大自然にも囲まれ、リフレッシュするのに最適な場所となっています。車を約25分走らせると、日本最古の玉置神社へ行くこともできます。

○郷土料理

- 【柿の葉寿司】・・・柿の葉で塩漬にした鯖の切り身を包んだお寿司です。
- 【柚べし】・・・くりぬいた柚子の中に粉末にしたそば粉、鰹節などを混ぜ合わせ蒸したものです。
- 【飛鳥鍋】・・・牛乳で野菜や鶏肉を煮込んだヘルシーな鍋です。
- 【奈良漬】・・・塩漬にした野菜を何度も酒粕に漬け替えた発酵食品です。
- 【三輪そうめん】・・・素麺発祥の地と言われる、三輪地方（奈良県桜井市）を中心に生産されており、タンパク質を多く含んだそうめんです。



エクスカーションのご案内

本学会ご参加者様用に下記エクスカーションをご用意しております。学会ホームページ「宿泊・エクスカーションのご案内」より旅行条件書（要約）をご確認の上、ぜひお申込みください。

■コース概要■

【旅行設定日】

2021年11月5日（金）・11月6日（土）日帰り

旅行代金：各コースのご案内をご覧ください ※消費税込の代金で表示しております。

- 旅行代金に含まれるもの：貸切バス代、入場代、昼食代金（Aコースのみ）。
- 旅行代金に含まれないもの：日程表に記載の出発地までの交通費、帰着地から先の交通費。
- 最少催行人員：25名
- 添乗員：同行いたします。
- バスガイド：同行いたします。

お客様へのお願い

- ①ご旅行中はマスクの着用をお願いいたします。
- ②ご集合時、検温にご協力をお願いいたします。万が一37.5℃以上熱がある場合は、ご旅行への参加をご遠慮ください。
- ③ご出発時にお渡しする「新しい旅のエチケット」をご一読頂き、記載内容をお守りください。

貸切バスの感染防止対策について

バス車内の除菌、消毒液の準備、運行中は外気導入運転を実施し、常に車内の空気を入れ替えしております。

A. 【日帰りコース】天川村と吉野コース

コースのポイント：南奈良の自然豊かな美しい村「天川村」の観光スポットと、吉野の霊場を訪れます。

日		程	
1	11/6 (土)	JR 奈良駅西口 7:30	天川村 日本三大弁財天 10:00-10:30
		天川村 大峰本宮 天河大辨財天社	ストロ-鍾乳洞管が特に貴重 面不動鍾乳洞 10:45-11:45
		鮎塩焼き付き鴨鍋定食 お食事処ちもと 12:45-13:45	吉野修験道の総本山 金峯山寺・蔵王堂拝観 15:00頃
			JR 奈良駅西口 16:50頃
		朝食	昼食
		-	○

記号 バス 〰️ JR 〰️ 私鉄 〰️ 徒歩 ……

※上記日程につきましては、運輸機関のダイヤ改正、各地の道路事情により、多少行程・時間が変更になる場合があります。予めご了承ください。

■旅行代金：お1人様あたり、10,000円

B. 【日帰りコース】橿原神宮と明日香村コース

コースのポイント：天皇家ゆかりの橿原神宮と、国営飛鳥歴史公園の高松塚周辺地区を訪れ、南奈良の豊かな自然と深い歴史を感じていただきます。

日		程	
1	11/5 (金)	JR 奈良駅西口 13:30	橿原神宮参拝 14:30-15:10
		神武天皇ゆかりの地	学芸員により壁画館の解説付 高松塚古墳・壁画館 15:30-16:10
			JR 奈良駅西口 17:30頃
		朝食	昼食
		-	-

記号 バス 〰️ JR 〰️ 私鉄 〰️ 徒歩 ……

※上記日程につきましては、運輸機関のダイヤ改正、各地の道路事情により、多少行程・時間が変更になる場合があります。予めご了承ください。

■旅行代金：お1人様あたり、6,500円

C. 【日帰りコース】曾爾（そに）高原コース

コースのポイント：曾爾（そに）高原一帯には、秋にススキが一面を覆い、夕暮れ時には金色に染まると言われています。

日		程	
1	11/5 (金)	JR 奈良駅西口 13:30	曾爾高原 ススキの山並みを散策 15:10-16:10
		曾爾高原	お買い物 曾爾ファームガーデン 16:20-16:40
			JR 奈良駅西口 18:10頃
		朝食	昼食
		-	-

記号 バス 〰️ JR 〰️ 私鉄 〰️ 徒歩 ……

※上記日程につきましては、運輸機関のダイヤ改正、各地の道路事情により、多少行程・時間が変更になる場合があります。予めご了承ください。

■旅行代金：お1人様あたり、6,000円

☆奈良国立博物館「正倉院展」チケットにつきまして

弊社宿泊・エクスカーションお申込みサイトより、前売り券の発売を予定しております。

詳細な日程・条件が決定次第、サイト内にてご案内いたします。

宿泊・エクスカーションに関するお問い合わせ

株式会社日本旅行 大阪法人営業統括部 MICE 営業部

「第59回全国自治体病院学会」受付デスク

〒541-0051 大阪市中央区備後町3-4-1 山口玄ビル6階

TEL：06-4256-3869 / FAX：06-6204-1763

E-mail：wj_gakkai@nta.co.jp

(営業時間 平日…9：30～17：30 休業日…土日祝日)